

交總二ユース

断然攻勢、戦端開始

けふ、歎願書提出

いよいよ最後の用意だ

山下局長が秘かに作成し、近々発表せんとする弾圧に対する東交全大衆の絶対反対の叫びと、断りストライキで逆襲せよとの斗争気分は今や全職場に澎湃として張り、昨十九日の中央委員会本部委員十七名、中央委員八十五名、傍聴者五十名と言ふ盛會であった。

先づ、今日電氣局が行はんとする徹首、賃下、手当削減に對しては絶対反対であり、弾圧粉砕のために本部の指令に不従順の態度をとり、斗争に邁進せんことを宣言し、決意を表明し、弾圧に對しては、いよいよ最後の用意だ、と断り、斗争組織を確立し、斗争基金を積み立て、斗争を満場一致で決定し、断りストライキの中央委員会決定による歎願書提出、徹首を行はざる事、本部に諸年當の削減を行はざる事、右二項について即時明確な答を求められたし、その内容のものを、山下局長病氣で不在の爲め、労働部長真田に全中央委員八十餘名が面會して提出した。並に、

これに對して私としては何ともお答へ出来なから、これを局長へ取次かします。布電の更生については目下種々考究中で、当局としては慎重を期してゐる。

と答へ、更に熱本委員長が問答を明日午前中に於いて貰ふたいと言つたのに對しては、局長が病氣であるから、その間はつきり何日にとは言ひ兼ねるが、諸君の意見を踏へて、怒るべく返事を送する、との事であった。

弾圧内容は

どんなものか?

山下大弾圧内容の内容に對しては、今日大衆に知らせるべきは、新聞記事その他各方面からの聞き込みを綜合して想像すれば、手當、賞與の半減、乃至は全廃、一割削減、早給の無期停止、高給者の天量整理、その他一説には、現在の従業員全部を一旦解雇して、初任給で再採用する、とも言はれてゐる。

いふにせよ、從來の如き生老死のものはなく、徹底的な大弾圧策であり、全従業員を食ふや食はずの境に叩き落すものであり、

交總各組合は

全力的に 應援せよ

東京市電に於ける大弾圧は、他都市々電の労働者に對しては断じて對岸の火災ではない、と、それは同じ長屋に消し止めなければならぬ、と、他市電へも燃え広がる事は明らかだ。

見よ、かつての東京市電に於ける初任給引下、半強制的希望退職者募集、ストライキ、アツク婦人車掌採用等々は、今日迄のまゝ、大阪市電、その他に於て行はれてゐるのだ。東京市電は、実に各市電の先導者となつて労働者を弾圧してゐるのだ。我々は故に、東交の戦いを交總全体の戦いとして全力的に戦ふべきだ、各組合は、速に、

